

教育目標  
学び合い 高め合い 共に伸びる子

目指す子ども像  
自信と誇りを持ち主体的に活動する子

目指す学校像  
瞳輝き 笑顔あふれる学校

知

自分の考えをはっきり言える子

徳

みんなのために行動できる子

体

めあてに向かって全力で取り組む子

各教科・総合的な学習の時間

- <重点>  
**学んだことを活用しながら、問題を解決する力を育てる。**  
 ① 基礎・基本的事項の確実な定着と活用力の育成  
 ② 伝え合う力の育成  
 ③ 体験的な活動を通じた学びの育成
- <具体的な方策>  
 ○「主体的に学び表現し合う授業」を実践し、活用力を育てる。  
 ○「話す・聞く・伝え合う」学び合いを重視した授業を実践する。  
 ○Web配信問題（3年生以上）・低学年テスト（1・2年生）を毎月実施し、繰り返し指導して基礎・基本の学習内容を確実に定着させる。  
 ○家庭学習強調週間の設定やカードの工夫により、進んで自主学習に取り組めるような指導を工夫する。  
 ○発表力・表現力を育てるために、学習発表会を実施する。

<目標とする成果>

- ①国語と算数のワークテストで、学期毎全単元の合計が全国平均の合計を上回る児童の割合を80%以上にする。
- ②学年の発達段階に応じた内容で、学年×10分以上の家庭学習を継続することができる児童の割合を85%以上にする。

道徳・特別活動・生活指導

- <重点>  
**力を合わせ、共に学校生活を楽しくする態度を育てる。**  
 ① 基本的な生活習慣（あいさつ・言葉遣い）の育成  
 ② 異年齢交流活動（桜っ子グループ）の実施  
 ③ いじめ防止や人間関係づくりに関する授業の充実
- <具体的な方策>  
 ○「さわやかあいさつ強調月間」を学期に1回実施する。  
 ○ピアサポート・プログラムに基づく桜っ子グループ活動を計画的に実施する。（桜っ子登山遠足、読書会等）  
 ○人権教育、同和教育の視点に立った道徳授業を実施し、保護者に公開する。  
 ○いじめ把握アンケートや学校生活アンケート、情報交換会等を活用して、子どもの理解に努める。

<目標とする成果>

- ①来校者、登校班の人、地域の方に気持ちの良いあいさつができる児童を、80%以上にする。
- ②異年齢交流活動（桜っ子グループ）で、各学年の発達段階に応じた活動ができる児童の割合を90%以上にする。
- ③いじめにつながる言動（差別や偏見）をしないで、ふわふわ言葉を使える児童の割合を90%以上にする。

体育・健康教育・食育

- <重点>  
**体力向上に努め、健康な生活を過ごそうとする態度を育てる。**  
 ① 運動を楽しむ体育授業（場、人数、ルール）等の工夫  
 ② 食と健康に関する指導（「食とみどりの新発田っ子プラン」）の充実  
 ③ 生活習慣の改善（メディアコントロール）の実施
- <具体的な方策>  
 ○体力向上重点種目につながる重点単元を設定し、体育の授業の準備運動で、体力向上のための補強運動を行う。  
 ○全学年で栄養士と連携し、食に関する講話と実習を行う。  
 ○子どもDE弁当の日を年2回実施し、家庭での食の意識を高める。  
 ○2回のメディアコントロールチェック週間に合わせて、生活習慣改善の事前指導を行う。

<目標とする成果>

- ①体力テストで、全国平均を上回る項目を80%以上にする。（96項目中77項目以上）、体力向上重点種目（体力テストで落ち込みの見られたもの）について、2学期末に、再度計測し、1回目を上回る児童の割合を70%以上にする。
- ②生活習慣改善授業後、メディア時間を守る意識を高めることができた児童を80%以上にする。

家庭・地域との連携

- PTCA活動を基盤にした連携強化を図る。
- 加治川地域に根差した特色ある学校づくりを推進する。

学級経営・学年（学年部）経営の充実

- 子どもと教師の信頼関係を基盤にし、学び合い・高め合う学級集団をつくる。
- 子どもの教育的ニーズに合った特別支援教育の充実を図る。

教職員の協働

- 校内研修を充実させ、指導力と専門性の向上を図る。
- 「教えて考えさせる授業」を推進し、学ぶ意欲と確かな学力の向上を図る。
- 創意と工夫をもった教育活動を力強く展開する。

子どもの願い

・たくさんの友達となかよくなりたい。学校生活を楽しみたい。

保護者・地域の願い

- ・自分の考えを自信をもってはっきり言える子にしたい。
- ・最後まであきらめずに、ねばり強く頑張る子にしたい。

教職員の願い

- ・既習事項を活用し、意欲的に学習に取り組む子に育てたい。
- ・思いやりの心をもって、相手の立場を考える子に育てたい。

教育課題

- 子どもたちの豊かな人間関係づくりができるようにする。
- 子どもが主体的に学び、共に学び合うようにする。
- 基礎・基本を定着させ、確かな学力を向上させる。
- よりよい生活習慣を身に付け、体力を向上させる。
- めあてを立て、最後まであきらめずに、ねばり強く頑張るようにする。

新発田市の教育指針

子どもの夢や希望を育む教育  
「道学共創」の理念

- ・基礎・基本の定着と学ぶ意欲の醸成
- ・豊かな心を育む教育の推進
- ・健やかな体を育む教育の推進